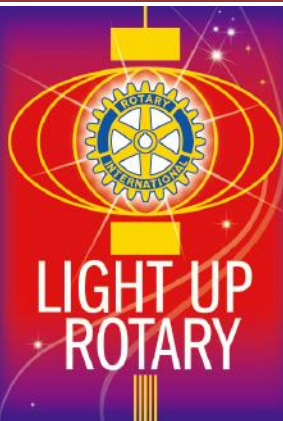


WEEKLY REPORT



RI会長テーマ ロータリーに輝きを クラブ会長テーマ 奉仕を見つめ 奉仕を楽しむ

第2230回 例会

日 時 平成27年4月22日
会 場 例会場
司 会 SAA 山崎委員長
開会点鐘 岡本(正)会長
斉 唱 ロータリーソング「我等の生業」
お客様の紹介 岡本(正)会長

宮澤 公栄様 (東京立川RC)

会長報告 岡本(正)会長

●青少年交換委員会メイキャンプの開催

日時 5月16日(土)～17日(日)

場所 千葉県

出席 吉野地区青少年交換委員

●14-15 来日生修了式並びに 15-16 派遣性激励会開催

日時 6月14日(日) 13時

場所 プラザ アペア

出席 吉野地区青少年交換委員

●病気療養中の三田浩一会員の一時転居先の連絡

幹事報告 遠藤(常)幹事

●今後の予定 祝日休会が続き、次回例会は5/13です。

委員長報告

●北島親睦活動委員長 親睦旅行の参加申込及び参加費の徴収をしています。ご協力お願いいたします。

ニコニコBOX 遠藤(直)親睦活動委員

●宮澤公栄様(東京立川RC) 本日、国立ロータリークラブへの参加、宜しく願い申し上げます。自宅は国分寺で職場が立川なので、今後もお世話になります。

●岡本(正)会長 千葉さんの卓話を楽しみに拝聴いたします。私も天寿を全うできるようにパートIIをしっかりと聴かせてもらいます。しっかりと聴かせてもらい



ます。また宮澤様の御来訪を歓迎致します。

●遠藤(常)幹事 菜種梅雨も終り爽やかな季節になってきました。今日の千葉会員の卓話楽しみにしています。

●小澤孝造会員 千葉君の卓話楽しみです。頑張ってください。

●山口会員・小澤谷守会員・山崎会員・遠藤直孝会員・北島会員・岡田会員 千葉会員の卓話、楽しみです。眠らない様にします。

●宗村会員 千葉伸也先生どうぞ永生させて下さい。耳の穴大きくして拝聴させていただきます。

●杉田会員・寺澤会員・木島会員・近藤会員・秋山会員・長嶋会員 千葉会員の卓話、楽しみにしています。

●内山会員・岡本貞雄会員・佐伯有行会員 きょうの卓話「天寿は変えられる? II」は、幼児教育を通してお話し下さるようです。どうして幼児教育と天寿が関係あるのか?その内容が楽しみです。

●小澤崇文会員 博学にして多才、多くの職歴を持ち、新宿区私立幼稚園園長会会長の千葉先生。卓話を楽しみにしています。

ニコニコBOX 38,000円 累計1,118,000円

出席報告 関出席奨励委員長

4月22日 在籍48名中 出席38名

前々回(4月8日)の出席率 89.47%

閉会点鐘

岡本(正)会長



RI第2750地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会長: 岡本 正伸 幹事: 遠藤 常臣

例会日: 毎週水曜日 例会場: 谷保天満宮社務所2階 東京都国立市谷保5209 TEL: 042-576-5123

事務所: 東京都国立市谷保5234-1 TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

E-MAIL: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB: http://kunitachi-rc.com/

会報委員: 千葉 伸也・佐伯 和美・竹巻 三千子



千葉伸也会員

講師紹介

小澤(崇)プログラム委員長

卓話講師の千葉会員とは、東京都私立幼稚園連合会で知り合い、今は同じ委員会に所属しています。30代半ばで園長となり、新宿区私立幼稚園協会会長です。経歴は、高校3年間をスイスで過ごし、日本の大学を出ています。その後、音楽関係から造園業まで、幅広い職種を経験されています。

天寿は変えられるⅡ～人生の入口編～

子どもを取り巻く社会は、ほんの20年前と比べても大きく変容しています。ワークライフバランスというキャッチフレーズが聞こえてくる昨今ですが、親と子のバランスをとるのはむしろどんどん難しくなっているようです。少子化と労働人口減少の影響は深刻さを増して、女性の就労を奨励するほどに少子化は進み、親子で過ごす時間が減っていく一方で、親になりきれない親が増えるという悪循環。次代の後継者を育てる育児や幼児教育は、言わば人生の入口。この入口を豊かにする取り組みは、我々の天寿にも大いに影響があると思います。

最近、様々な場面で子どもの声を「迷惑」だとか「騒音」だと言われることが多くなりました。日本は子育てへの理解が乏しい、世知辛い社会になりつつあります。国や地方自治体は「待機児童」が多いからと、保育所を増やし続けていますが、長時間に渡って親から離されることを、自ら望んで待っている子どもは1人もいないでしょう。大人の働き方が変えられないから、子育てだけ変えられてしまうのです。25年前の保育所では、0歳児を預かるなんて非常識、8時間開所でも預かり過ぎだと言われていました。今ではほんの数ヶ月で乳児を預かり、11時間～13時間開所が当たり前になりました。福祉であるはずの保育所では、希望して働く人の為の育児代

行サービスになってしまった感もあります。利用者である親には「預かってもらって当然」という姿勢見られるのも、このような時代背景があるからなのでしょう。

世の中が便利になり、不便さがどんどん解消されていることによって、人の能力は低下している気がします。便利な保育所が増えることで、育児の苦勞や負担が軽減される代わりに「親心」は十分育ちません。メールやSNSは便利ですが、直接人の目を見て話し、上手に関わることができない大人や子どもも増えています。アップルコンピューターの創業者であるスティーブ・ジョブズ氏が言っていたように、小さいうちからiPhoneなどの携帯端末を使用していると、子ども自身の想像力が奪われていきます。人に対する敬意や礼儀も同様でしょう。昔は様々な不便があったからこそ、多くの人に知恵が生まれてきたはず。今の時代は、あえて不便さを用意しなければ、快適さの中で知恵も想像力も育ちにくくなっています。子ども達に必要なのは「モノ」ではなくて「ヒト」なのです。

幼稚園は「ヒト」が全てです。先生が最大の環境要因であり、その先生のもとで多くの子ども達が関わり合って育ち合っています。家庭においては親ですね。育つ側よりも育てる側がしっかり成長しなければ教育は成り立ちません。最近では、「イクジイ」と提唱される祖父母の力、特におじいちゃんの孫育てが注目されています。団塊世代の祖父母が孫たちを強く、豊かに育てる重要な役割を担っているのかも知れません。そして、その孫育てが天寿を変えることになるのかもしれない。

<ロータリー財団ニュース3月号より抜粋>

ポリオプラス

【歴史に残る1ページ:30周年を迎えたポリオプラス】

2015年は、世界からポリオをなくすことを目的としたポリオプラスプログラムをロータリーが開始して30年目にあたります。世界中のロータリー会員がポリオ撲滅活動の30年を振り返り、2月23日のロータリー創立記念日から、その成果を祝うための行事を企画しました。

ロータリーとパートナー団体が1985年以来取り組んできたポリオ撲滅活動によって、年間35万件あったポリオの発生数が、2014年には359件以下に減少。今後も、撲滅が達成されるまで、積極的な活動が継続されます。ロータリーがこの活動に寄付した金額は13億ドルに上り、ボランティアによる懸命の努力によって、世界20億人の子どもたちをポリオの脅威から守ってきました。さらに、ロータリーによるアドボカシー活動は、各国政府からの100億ドルにもおよぶ寄付につながりました。

2月23日のロータリーの創立記念日に、ポリオ撲滅活動における進捗と、ロータリークラブの祝賀行事がrotary.orgとendpolio.orgに掲載されています。

【ポリオ症例数】

ポリオ	国	2015年1月1日～ 2月25日	2014年 (通年)
常在国	パキスタン	7	306
	アフガニスタン	0	28
	ナイジェリア	0	6
常在国 以外	赤道ギニア	0	5
	イラク	0	2
	カメルーン	0	5
	シリア	0	1
	エチオピア	0	1
	ソマリア	0	5
	世界合計	7	359

【月間】

RI 理事会は、ロータリーの特別月間を、重点分野を強調するものに変更しました。2015年7月からの特別月間は、次のとおりです。

7月	-	1月	職業奉仕月間
8月	会員増強・拡大月間	2月	平和と紛争予防/紛争解決月間
9月	基本的教育と識字率向上月間	3月	水と衛生月間
10月	経済と地域社会の発展月間	4月	母子の健康月間
11月	ロータリー財団月間	5月	青少年奉仕月間
12月	疾病予防と治療月間	6月	ロータリー親睦活動月間